

# 7. 文献収集と公開・史料 電子化・ウェブ発信

---

- 1) 文献・資料の収集と公開
- 2) IGS 史料電子化プロジェクト
- 3) ウェブサイト等での情報発信

## 1) 文献・資料の収集と公開

### ジェンダー研究の知の基盤の一層の充実を図る

ジェンダー研究所は、1975年に「女性文化資料館」として創立以来、ほぼ半世紀にわたり、女性学・ジェンダー研究の文献資料の収集を絶え間なく続けてきた。女性学分野の文献資料を特に多く所蔵する、一般利用も可能な機関として、東京都立図書館がウェブ上で運営する「専門図書館ガイド」(<https://senmonlib.metro.tokyo.lg.jp/>)にも紹介されている。(ただし、学外者の場合は、附属図書館への事前の手続きが必要。)日本のジェンダー平等が遅々として進まない状況が続く中、女性やジェンダーにまつわる問題が、長い年月の中でどのように扱われてきたのかを知るための場所として、今後ますます活用されることを期待したい。

2024年度は、新たな文献・資料収集においては、貴重な資料集成などの購入、配架を進めた。一方で、女性文化資料館、女性文化センター時代に収集されたとくに古い資料は、状態の劣化が見られるものが増えてきた。貴重な蓄積が今後も確かに受け継がれていくよう、図書館担当者や必要に応じて専門業者にも相談しながら、保管方法にも配慮していく。

#### ■附属図書館専用書架での蔵書貸出・閲覧

ジェンダー研究所蔵文献(書籍約25,000冊、雑誌約340種)は、お茶の水女子大学附属図書館の専門コーナーに配架され、学内外の学生や研究者に利用されている。

##### 《図書館利用案内》

###### ○開館日

- ・月～金 8:45～21:00 (授業のない日は17:00まで)
- ・土 9:00～17:00 (夏・冬・春期休業期間中は閉館)
- ・日 12:00～17:00

###### ○閉館日

- ・日曜日、国民の祝日、年末年始、大学夏季一斉休業日
- ・夏・冬・春期休業期間中の土曜日
- ・蔵書点検
- ・徽音祭当日、創立記念日、入学試験日当日、卒業式

※最新情報は附属図書館ウェブサイト (<https://www.lib.ocha.ac.jp/>) を参照。



## ■蔵書・研究者に関する情報提供

附属図書館収蔵文献・資料のほかに、ジェンダー研究所内にて、購入雑誌・寄贈雑誌の最新号、研究所の過去の成果刊行物、事業の記録、所属研究者執筆の書籍のほか、全国のジェンダー研究施設や男女共同参画団体の定期刊行物を閲覧することができる。

資料閲覧対応のほか、研究者及びジェンダーに関心を持つ方々に、これらの文献や資料、研究所に蓄積された知識を広く活用してもらうため、メールや電話による外部からの問い合わせ、訪問依頼にも随時対応している。

## ■お茶の水女子大学デジタルアーカイブズでの資料公開

<https://www.lib.ocha.ac.jp/archives/>

(デジタルアーカイブズトップ)

<https://www.lib.ocha.ac.jp/06/researcher.html>

(女性研究者名鑑)

お茶の水女子大学デジタルアーカイブズでは、本学を卒業し、女性の先駆的研究者として活躍した保井コノ、黒田チカ、湯浅年子、辻村みちよの研究業績をまとめた資料目録などが公開されている。

これらの資料は、女性文化資料館時代の 1981 年の文部省特定研究「女性高等教育とその成果に関する総合的研究」における 2 つのプロジェクト、「III 婦人研究者の活動状況に関する調査研究—自然科学分野を中心に—」「IV 女性文化に関する文献・資料の収集及び調査研究」の中で、それぞれのご遺族の協力を得て収集した遺品のうち、研究関連のものを整理し、長い時間を掛けて目録化したものである。

目録化は本研究所の前身機関のプロジェクト成果であるが、これを大学の歴史資産として広く公開するよう、2007～2009 年にデジタルアーカイブズ化された。現在、資料現物は理学部棟内に設置された「女性科学者資料室」に保管され、その管理は、本学図書・情報課 大学資料担当（歴史資料館）が行なっている。資料閲覧や出版物への利用申請、貸出等の依頼も同担当（shiryo@cc.ocha.ac.jp）が窓口になって応じている。



## 2) IGS 史料電子化プロジェクト

ジェンダー研究所は2017年度に、「IGS 史料電子化プロジェクト」を始動した。ジェンダー研究所の前身であるジェンダー研究センター（1996年設立）、女性文化研究センター（1986年設立）、女性文化資料館（1975年設立）において、所属の研究者たちが企画開催してきた研究会やセミナー、国際シンポジウム等のイベントの記録・資料を電子化し、「IGS デジタルアーカイブ」として後世に残すことで、ジェンダー研究のさらなる発展に寄与することを目的とするプロジェクトである。

### ■ 電子化済イベント件数

女性文化資料館時代と女性文化研究センター時代に開催されたイベントの記録は、主にカセットテープに録音された音声である。そのほかに、写真（ネガフィルムと紙焼き）と、印刷物や手書きの資料・記録等の紙媒体の史料が残されている。2017年度以来これらアナログデータの調査を進め、バラバラに保管されていた史料を過去の彙報などを参考に整理していく作業と、それと並行して個別のアナログデータをデジタルデータへと変換する電子化作業を進めてきた。

2024年度も新たに45件のイベントをデジタル化することができた。2025年6月現在の電子化済イベント件数は【表1】の通りである。

【表1】電子化済イベント件数（※1,2）

時期 (年度)	組織名	イベント 件数	電子化済イベント件数			
			ドキュメント (PDF)	画像 (JPEG)	音声 (mp3)	動画 (mp4)
1975-1985	女性文化資料館	75			54	
1986-1995	女性文化研究センター	136	1	23	85	
1996-2014	ジェンダー研究センター	211	4	91	146	45
2015-2021	ジェンダー研究所	157	151	153	144	37
合計		579	156	267	429	82

※1) 現在も調査中のため、イベント件数は今後増える見込

※2) 女性文化資料館時代と女性文化研究センター時代のイベント一覧は本報告書 94～100 頁参照

### 3) ウェブサイト等での情報発信

## ウェブサイト全体の情報整理とデザイン整備

2023 年度に続き 2024 年度は、ウェブサイト全体の情報整理とデザイン整備を進めた。その際、サイト全体の軽量化を図るため、画像のリサイズやファイル形式の見直しを行い、PDF の圧縮処理を行った。また、サイト読み込みの遅滞を減らすため、使用していないウィジェットの整理や、使用フォントの統一、SNS 等の埋め込みの削減等、外部リソースの読み込みを最適化する作業を行った。さらに、ページのレイアウト崩れを防ぐため、プラグインを使用しないレイアウト構築を図っている。これによりページ内で情報が前後することなくスムーズに表示され、ユーザーにとって一貫性のある快適な閲覧環境が実現される見込みである。

また、WordPress を用いたサイトの再構築作業を進めた。これまで日英ページともに本番環境のみでサイトの管理・更新を行っていたため、開発・検証用のローカル環境が存在してしなかった。2025 年度以降の新サイト立ち上げに向けて安定した開発体制を整える必要があることから、2024 年度はローカル環境の構築を進め、ローカル上での WordPress 動作および既存データの複製・移行作業を進めた。移行対象は記事コンテンツ、メディアファイル、『ジェンダー研究』用のカスタム投稿タイプ等である。

さらに、移行に伴い、サイトの表示速度を改善するために画像および PDF ファイルの最適化作業を実施した。これにより、読み込み速度の改善とサーバー負荷の軽減が期待される。さらに、現サイトがスマートフォン表示に対応していない問題を改善するため、新サイト移行の際にはテーマの見直し（必要に応じて再設計）と PHP バージョンの更新検討を行う。その上で、ローカル環境上でのサイト再現と動作検証の実施を進める予定である。また、現行ウェブサイトでは表示速度の改善を優先し、SNS の埋め込み機能を停止しているが、本来はサイトと SNS との相互連携を強化し、インタラクティブ性を高めたいと考えている。今後は、これを両立可能とする最適な手法の検討を進めていきたい。

2025.2.10 IGSSセミナー  
沖縄における共有地とジェンダー：家父長制と軍事化の関係を問う

近代資本主義の基盤となってきた私的所有に対し、オルタナティブな経済社会のあり方を構想する基盤として、〈コモンズ〉が注目されている。しかし、沖縄において土地や資源の共有は家父長制秩序と密接に結びついてきた。この結びつきは近代化の中でも解体されることはなく、米軍統治を経てさらに強固に再秩序化されてきた。本セミナーでは、米軍基地の軍用地料をめぐる沖縄の女性たちの闘争について、棚山節子氏にご報告いただく。コメンテーターに沖縄近現代史を専門とする戸邊秀明氏と、現代中国研究を専門とする大橋史恵氏を迎えて議論を行いたい。

日時：2025年2月10日（月）16:00-18:00  
会場：お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科棟604室  
→お茶の水女子大学共通講義棟2号館102室へ変更となりました。

報告 棚山節子（同志社大学）  
『沖縄における共有地の軍事化と女性の立場』

コメント 戸邊秀明（東京経済大学）  
大橋史恵（お茶の水女子大学ジェンダー研究所）

司会 藤本新奈（お茶の水女子大学ジェンダー研究所）

参加申込：要事前申込・登録制、参加無料  
申し込みフォーム：https://forms.gle/TPEZ4vDTChovJLJM9  
言語：日本語  
主催：お茶の水女子大学ジェンダー研究所

沖縄における共有地とジェンダー



表ツールを使用し階層化した  
イベントページのレイアウト例